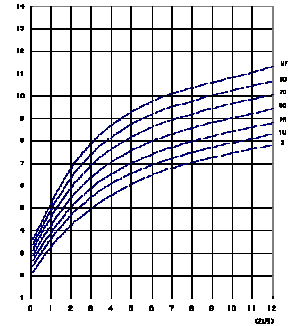


子どもの成長とどう向き合うか

《精神的成長について》

子どもの成長には身体的成長と精神的成長があります。親としてみれば、どちらもつつがなく、すこやかに成長することを願いますが、身体的な事と精神的な事ではその成長の仕方が大きく異なることを理解しておくことはとても重要です。

多くの親達は、母子手帳や医療関係の書籍に書かれている右図のような『成長曲線』に沿って自分たちの子ども成長していくであろうと思っています。確かに多くの子どもたちはそのように成長していきますが、これはあくまで身体的成長の事であり、精神的成長を表しているものではありません。このことを先ずしっかりと頭の中に入れておかないと、こどもに対して間違った対応をしてしまいます。



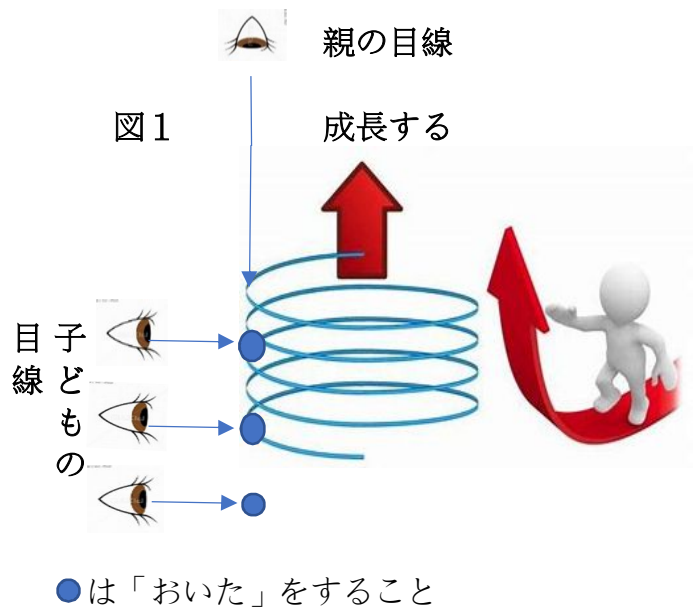
右図のように右肩上がりに成長してくれればこんなに楽な事はありませんが、絶対にそんなことはありません。確かに、赤ちゃんから成人するまでという長いスパンで見れば右肩上がりになりますが、その時々で見れば右肩上がりには決して成長してはいません。

人は人として生きていく為によく多くの事を学び、吸収し、獲得していかなければなりません。また獲得したものを発現し、周囲からの反響によってまた新しいものを獲得していく、こうしたことの繰り返しをしながら成長していくのです。従って、単純な右肩上がりの二次元のグラフでは表すことが出来ません。

では、子どもの精神的成長をどう捉えたら良いのか。右図のようにスパイラルで考えるととても良く分かります。

例にとって考えてみましょう。子どもはよく「おいた」をします。それも何回もします。教えても、叱っても繰り返します。これを図2のように親の目線だけで見てしまうと成長していないかのように見えます。しかし子どもの目線で見てみますと同じ「おいた」をしても、その度にグレードが上がっていき、そのうちにしなくなります。これが成長していく仕方なのです。言い換えればこのようなことをしながら、生きていくのに必要な事柄を獲得していくのです。

親としては早く成長して欲しいと思うあまり、怒ったり、悩んだりしてしまいがちですが、スパイラルを理解していれば、そうしたこともなくなります。「おいた」をしながら子どもは頑張っているのです。

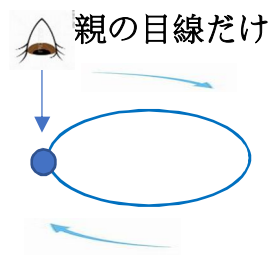


親の目線だけで見ると下図のように堂々巡りしているように見え、成長していないかのようなのである。

親の目線だけで考えると、自分の子どもに間違った判断をしてしまいます。

結果を早く求めないことも大切なことです。それもスパイラルを理解していれば当然のことです。

図2



3月は当園を卒園していく子もいます。平成29年度も終わりに近づいています。私が色々な研修会、講演会への参加、委員であった依存症(薬物、アルコール、ギャンブル等)対策会議、うつ病等による自殺防止対策会議の経験から、人としての成長とくに子どもの成長をどう捉えたらいいのかということに関して今自分が思っていることを書いてみました。

理事長筆

“親も子供の成長とともに成長していく”

この謙虚さを持つことが大切です。

